

防虫ネットで害虫をシャットアウト

[研究のねらい]

アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類など微小害虫は地上1m程度を飛翔するので、ハウス内には側窓開口部から侵入します。そこで、ハウス側窓面への防虫ネット被覆による害虫の侵入防止効果を明らかにします。

[研究の成果]

- ①キュウリ栽培ハウスの側窓開口部に目合い0.5mmの防虫ネットを被覆すると、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類の侵入を防ぐことができます（図1）。
- ②コマツナ栽培でも同様に、ほとんどの害虫の発生を防止できます（図2）。
- ③側窓に防虫ネットを被覆しても、天窓換気を行うとハウス内気温の上昇を抑えられます。

[成果の活用面・留意点]

- ①防虫効果はネットの目合いや素材によって異なります。
- ②他の野菜類、花き類に広く活用できます。
- ③苗からの害虫の持ち込みに注意してください。

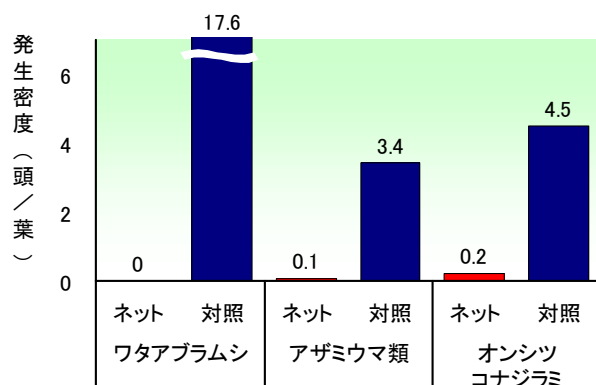


写真1 ワタアブラムシ

図1 目合い0.5mmの防虫ネット被覆による害虫防除効果
(キュウリ、2001年7月) ※定植後30日(アザミウマ類は23日)

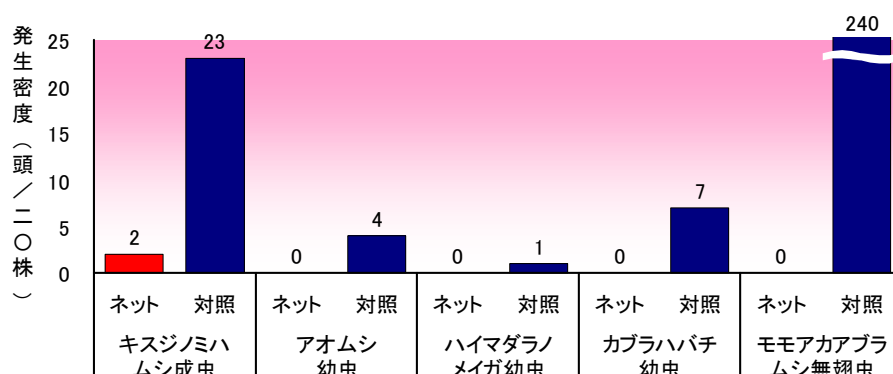


図2 目合い0.5mmの防虫ネット被覆による害虫防除効果
(コマツナ、2003年8月) ※播種後22日

実施年度：平成12～16年

担当者：井口雅裕、福嶋綾子、矢野貞彦